

NO5

駅（旧三野瀬駅）の銃痕

所在地は紀伊長島町郷土資料館（JR紀伊長島駅より徒歩15分）



1945年7月25日の三野瀬駅。上りと下りの汽車がすれちがうため、両方の汽車が駅に着いたとき、一機の飛行機が飛来し、機銃掃射がはじまりました。150メートルほど先にトンネルがありますが避難する間もありません。

機銃掃射の弾が、列車の屋根を打ち抜き、13人もの死傷者が出るという痛ましいできごとでした。そしてこのとき飛行機から放たれた弾が、駅のホームの柱に命中したのです。

この柱は20年ほど前までは、そのまま三野瀬駅のプラットホームに残されていました。しかし国鉄民営化とともに駅舎がとり壊され、銃痕が残るこの部分は切りとられて町の郷土資料館に移されました。

紀伊長島町の小学校では、紀伊長島駅前の空襲（同年5月14日）と、この三野瀬駅の機銃掃射の話が、「地域にあった戦争」として3・4年生の社会科の副読本に載せられています。

地域の戦争・戦跡から、「平和」を考え、その実現へとつなげていくことのできる「学び」を創造していきたいと思っています。

20050805 掲載